

第 1 回庄川水系流域委員会 議事要旨

開催日時：令和 2 年 5 月 21 日（木） 14：00～16：00

場 所：富山河川国道事務所 3 F 大会議室

- 議事次第：
1. 開会
 2. 挨拶
 3. 出席者の紹介
 4. 設立趣意、規約
 5. 委員長の選出
 6. 議事 (1) 流域委員会の進め方
(2) 庄川水系河川整備計画の点検
(3) 利賀ダム事業監理委員会報告
(4) 今後の予定
 7. 閉会

議事結果：

設立趣意、規約

- ・設立趣意、規約について了承された。

委員長の選出

- ・玉井委員が委員長に互選された。

議 事

(1) 流域委員会の進め方

[委員]

今回の流域委員会の議論の結果を地域の皆さんへどのように伝えるのか。

[事務局]

本委員会の資料・議事結果については、ウェブで公表させていただく。

(2) 庄川水系河川整備計画の点検

[委員] p 2 2

- ・社会情勢の変化と防災の考え方について

総人口は横ばい傾向で世帯数が増えているということは、人口が変わらず世帯数が増えていることがわかる。それは、核家族化および高齢者の一人暮らしが進んでいると考えられる。

過去の豪雨災害では、高齢者の多くは、支援者がいれば助けられたとのデータも出ている。地域の脆弱性が少し上がっている事から、それらについても配慮した考え方を教えていただきたい。

[事務局]

庄川流域の地域における減災に関する取り組みを紹介する。

- ・地域の区長にも参加いただき危険箇所の合同巡視の実施。
- ・浸水想定区域図などを基本としたハザードマップを自治体が作成し公表。
- ・各自治体が防災意識を高める自主防災組織の結成、防災士による防災講座・リーダー育成。
- ・要配慮者使用施設による避難確保計画の作成

防災減災の取り組みについては、国土交通省の役割、自治体の役割、地域の役割があり、引き続き自治体とも協議・調整しながら取り組んでいく。

[委員] p 6

事業の進捗、急流河川対策箇所の確認をさせていただきたい。

左岸 20～24k の箇所ですが、昔は非常に長い砂州波長を持った区間になっていた。それが、低水路が狭くなってきたのか分からないが、洪水により局所的に波長が短くなった箇所については、比高差（侵食）が大きくなっているようなところが出てきている印象を持っているが、そのような箇所をどのようにしたらいいのか。

[事務局]

P24 左岸 21.5k のように、洪水により河岸侵食が発生している箇所もあるなか、急流河川対策の実施箇所については、現地の巡視・点検等により安全度評価を行い優先順位をつけ実施しているところである。

[委員] p 3 2

河川整備計画の点検について、自然環境に対する記載がない。生物の生息・生育環境の連続性の確保の内容を追加するなど、河川整備計画の河川環境の整備項目についての書き入れをお願いしたい。

※ p 5 河川整備計画の目標に対する現時点の達成度といった書き方をすると分かりやすい。

河川整備計画の点検の取りまとめについては、非常に大きい項目について取りまとめられているが、もう少し細かく中段階の項目についてもまとめるとわかりやすい。住民の方に伝わりやすいように、河川整備計画策定時点での内容と、それ以降の新しい課題の二つが点検の対象である、という基本構造を示したうえで結果を整理するべきでないか。

(3) 利賀ダム事業監理委員会報告

- ・委員からの意見なし。

(4) 今後の予定

- ・委員からの意見なし。

以 上